

④ 予選 / 映像審査用動画撮影例

提出する動画は8分間以内に収める。 下記のポイントと当公式HP掲載映像「予選/映像審査用動画-撮影Sample-」を確認し、指示に従って動画を準備してください。 ※時間超過動画は審査から除外！

1. カメラの位置・撮影のポイント



- ◎カメラ一台で三脚を使用し、用紙の前正面に上の写真(作品の見え方)以上の高さで水平固定する。
- ◎一定倍率でパン・チルト機能などは使用せず、演目の始～終をワンカット・同時録音で撮影のこと。

2. 完成作品掲示撮影のポイント



- ◎演目披露の最後に、完成作品全景(この写真の様に)を4秒間程度掲げることを忘れない。
- ◎映像の画角(左右・上下の撮影範囲)は、上2枚の写真を参考に！
 - ※掲げた完成作品(演目で書き上げた作品)が、フレームアウトしないように撮影する。
 - ※揮毫中の文字や演者、作品の全景が確認できない場合、審査結果に影響することがある。

○ 問い合わせ先 ○ 静岡書道パフォーマンスアワード実行委員会事務局 審査担当：寺田 大悟
直通：070-8975-7140 事務局 TEL：054-644-4639 FAX：054-644-4430
E-mail：shodo-01@s-shopa.com Homepage：https://s-shopa.com/